

伊勢原市【神奈川県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



■協議会メンバー
伊勢原市／大山阿夫利神社／大
山寺／宝城坊／比々多神社／大
山観光振興会／比々多観光振興
会／たかべや緑の里振興会／伊
勢原市文化財保護審議会／伊勢
原市文化遺産活用実行委員会

■構想策定年度…
平成二十八年一月
■補助事業期間…
平成三十年四月二日
平成三十一年三月二十九日

歴史文化基本構想の概要

伊勢原市は丹沢の霊峰である大山の麓に広がり、豊かな自然と長い歴史、多彩な文化財を有する。古代からの大山への信仰が江戸時代に花開き、現在へと引き継がれる「大山詣り」をはじめとする地域共有の財産を、後世へ確実に継承していくことを目指す。さらに、市民団体等との協働、関係諸機関との連携により、歴史・文化遺産を地域の活性化やまちづくりにも活用していく。

観光拠点形成の方向性

- ・豊かな自然環境と歴史・文化遺産を重要な観光コンテンツと位置づける
- ・歴史文化基本構想に沿い、文化財の活用によりその保存・継承を図る

観光に関する課題

- ・文化財の集中エリアを周遊することにより、観光客の滞在時間を伸ばす
- ・文化財の活用と継承のために、広くその価値の共有化を図る必要がある

事業概要

地域の歴史的魅力を映像で紹介

地域の歴史や文化財、さらに花、景色、名産品等、地域の魅力をめぐるストーリー仕立ての映像を作成した。市のホームページのほか、動画共有サイトへアップし、広く情報発信に務めた。閲覧件数は公開後1ヶ月で6万件余りとなっている。

■KPI 文化財ホームページの閲覧数:
45,000件(H28)→55,000件(R1)

情報
発信



海外への情報発信、ホームページの英語化

市域の文化財情報を海外へも発信し、外国人観光客の増加につなげるため、市が管理するホームページ「いせはら文化財サイト」の英語版開設に向け、昨年度に引き続き、文化財解説文の英訳を行った。

■KPI 文化財ホームページの閲覧数:
45,000件(H28)→55,000件(R1)

情報
発信



文化財で地域を活性化、PRイベントの開催

歴史講演会や文化財ウォークラリー、火起こし等の歴史体験を中心に、地域の魅力を活かしたイベントを開催した。文化財所有者や地域の観光振興団体、地元商店らの協力により、地域の価値を見直す、地域総出のイベントとなった。

■KPI 伊勢原市への入込観光客数:
約1,900,000人(H28)→約2,300,000人(R1)

普及
啓発



活用対象の絞り込み、モニターツアーの実施

外からの目で地域の魅力を評価することで、地域がその価値を再認識し、また、活用へ向けたターゲットを絞り込むため、旅行ツアー企画者、発信力のある外国人メディア、一般旅行者を対象とするモニターツアーを実施した。

■KPI 伊勢原市への入込観光客数:
約1,900,000人(H28)→約2,300,000人(R1)

普及
啓発



成果

① 知名度の向上と周遊環境の整備

歴史の里と言われながら、知名度の向上が課題となっていた比々多地区について、映像やイベント告知等メディアを利用した情報発信、さらに案内板の設置やトイレの改修等により、周遊環境が整備された。

② 地域の理解の深化と結束力の強化

それぞれの事業は、準備段階から地域の協力のもと取り組んでおり、目指した成果に結びついただけでなく、参加関係者の地域への理解が深まるとともに、文化財を核として異なる立場の連携が強化された。